



2016 年 3 月 13 日（日）大阪府立国際会議場
開演 13：00～ 終了 16：45

第 1 部

基調講演「大阪に津波が来たら？」 河田 恵昭（関西大学教授）

パネルディスカッション「東日本大震災被災地からの報告」

第 2 部

「チャリティコンサート ～歌声でつなぐ絆の輪～」

■清心（マンドリンシンガー） ■東西四大学チャリティー合唱団

主催：大阪御堂筋本町ロータリークラブ 国際ロータリー第 2660 地区 I M7 組 各ロータリークラブ
関西岩手県人会

後援：大阪府 大阪市 岩手県 (株)読売新聞大阪本社 読売テレビ (株)岩手日報社
国際ロータリー第 2660 地区 早稲田大学校友会大阪支部

協賛：アーカスクリエイト(株) (株)環境総合テクノス (株)関電エネルギーソリューション 関電不動産(株)
関電プラント(株) (株)財産プランニング研究所 (株)ザイマックス関西 住江織物(株)
損害保険ジャパン日本興亜(株) 阪急電鉄(株) 阪急不動産(株) (株)ユニオン
早稲田大学校友会大阪支部 竹田雅幸 (企業・団体 50 音順) 藤田慶二郎

協力：読売テレビ (株)岩手日報社 (株)IBC 岩手放送

義援金のご協力を宜しくお願い致します。

プログラム

総合司会：橋場 由見子（HY 教育エンタープライズ）

13:00～ 基調講演「大阪に津波が来たら？」 河田 恵昭（関西大学教授）

14:00～ パネルディスカッション「東日本大震災被災地からの報告」

コーディネーター：辛坊 治郎（大阪総合研究所代表）

パネリスト：戸羽 太（陸前高田市市長）

木下 義則（IBC 岩手放送記者）

木村 忠彦（元大阪市警備方面隊長・現淀川消防署長）

四戸 直紀（大槌町総合政策部総合政策課）

河田 恵昭（関西大学教授）

15:30～15:45 <15 分間休憩> （ご注意）チャリティコンサート中の入退室はご遠慮下さい。

15:45～ 「チャリティコンサート ～歌声でつなぐ絆の輪～」

司会：道浦 俊彦（読売テレビアナウンサー）



■東西四大学チャリティー合唱団

大阪稲門グリークラブ 慶応義塾ワグネル・ソサィエティー関西OB合唱団

新月会（関西学院） クローバークラブ（同志社大学）

ピアノ：吉岡 美喜

I. Sailing, Sailing 指揮：広瀬 康夫（新月会）

II. いざ起て戦人よ 指揮：藤野 充（大阪稲門グリークラブ）

III. Ride the Chariot 指揮：辻 伸高（新月会）

IV. 君といつまでも 指揮：高田 俊吾（慶応義塾ワグネル・ソサィエティー関西OB合唱団）

V. あすという日が 指揮：藤野 充（大阪稲門グリークラブ）

VI. 斎太郎節 指揮：竹内 正（クローバークラブ）



■清心オンステージ（マンドリンシンガー）

ピアノ：竹迫 香織

I. 心のふるさとへ（JR東日本CMソング）

II. Hand in Hand（岩手県教育振興運動イメージソング）

III. 翼をください

IV. ココロの風

V. 花は咲く 全員合唱 指揮：藤野 充 ピアノ：吉岡 美喜



16:45 終了



総合司会：橋場 由見子

HY教育エンタープライズ代表 たいわ 結話力・コミュニケーション力UP講師

聖心女子大学卒業。3歳よりピアノを始め、学生時代はグリークラブで歌唱、指揮、ピアノ伴奏を担当。幼少期より磨いた音楽の感性から、音と言葉、声とコミュニケーションを専門に研究を続けている。1996年よりRK音楽事務所主宰 川本ルリ子に師事。独自の音楽理論『音楽力』を学ぶ。研修講師の他、コンサートや講演会、セレモニー、イベントの司会やナレーション、朗読等を務める。優しく柔らかな口調の中にも、言葉の持つ意味を深く掘りおこし、相手の心や感性に訴えかけるアプローチに定評がある。

第1部 プロフィール



河田 恵昭 関西大学教授

関西大学社会安全学部・社会安全センター長・教授。工学博士。専門は防災・減災。現在、阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター長（兼務）のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。21世紀COE拠点形成プログラム「災害学習の解明と防災学の構築」拠点リーダー。大都市大震災減化プログラム（文部科学省）研究代表者。2007年国連 SASAKAWA 防災賞、2009年防災功労者内閣総理大臣表彰、2010年兵庫県功労者表彰。現在、中央防災会議防災対策実行会議委員。日本自然災害学会および日本災害情報学会会長を歴任。



辛坊 治郎 (株)大阪総合研究所代表

1980年早稲田大学法学部卒業。同年読売テレビ放送株式会社入社。1993年報道局解説委員。1996年USIA（アメリカ国務省文化交流庁）の招きで米国メディア研究。1997年～1998年ニューヨークベース大学客員研究員。2004年芦屋大学客員教授。2009年読売テレビ解説委員長。2010年読売テレビ放送株式会社退社。現在、(株)大阪総合研究所代表。読売テレビ、ニッポン放送等でキャスター、ニュース解説で活躍。著書「ニュースで伝えられないこの国の真実」KADOKAWAほか多数。



戸羽 太 陸前高田市長（現在2期目）

会社員を経て1995年4月から陸前高田市議を務め、2007年3月に助役に就任。その後副市長を務める。2011年2月の市長選に初出馬、初当選を果たした。市長就任後直後に東日本大震災により壊滅的な被害を受け、復興に向けた新しいまちづくりを進めている。「世界に誇れる美しいまちの創造」をコンセプトに「ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり」を目指している。



木下 義則（IBC 岩手放送記者）

委託カメラマンとしてIBC岩手放送の報道業務に従事していた2011年3月11日東日本大震災が発生、釜石港近くにあった支社が入居するビルより押し寄せる大津波の一部始終を撮影、被災直後の惨状をレポートする。現在、釜石駐在の記者として被災地の復興の現実と向き合い続けている。



四戸 直紀（大槌町総合政策部総合政策課）

平成14年4月大槌町役場に入庁し、震災時は総務課防災業務を担当。地震発生時は隣まちの釜石市内を運転中で、その後役場まで戻り災害対策本部に合流。合流後に、津波が役場を襲い被災したが、偶然も重なり水面に浮上し漂流してきた屋根に乗り最後は建物に飛びつき一夜を過ごす。翌日、自衛隊ヘリに救助され高台の城山公園体育館に移動し災害対策本部を再構築して自衛隊や国・県との調整、避難所対応などの業務に従事。



木村 忠彦（元大阪市警備方面隊長・現淀川消防署長）

東日本大震災当時、大阪市消防局警備方面隊長として勤務。発災後数時間で、大阪府下33消防本部からなる大規模な緊急消防援助隊を組織し、岩手県などに派遣。人命救助を中心とした消防活動全般を指揮した。危機的な状態となった福島第一原発では、部下職員とともに原子炉建屋に迫り、冷却放水作業に従事し被ばく。

第2部 プロフィール



清心 (キミ) マンドリンシンガー

岩手県北上市出身。マンドリンを青山忠氏に師事。2006 年、徳間ジャパンコミュニケーションズよりメジャーデビュー。福祉施設や支援学校のほか、東日本大震災直後から被災地、避難所など 50 か所で慰問ライブを行う。希望郷いわて文化大使。



花は咲く

岩井 俊二 作詞 菅野 よう子 作曲

1. 真っ白な 雪道に
春風香る
わたしは なつかしい
あの街を 思い出す

叶えたい 夢もあった
変わりたい 自分もいた
今はただ なつかしい
あの人を 思い出す

誰かの歌が聞こえる
誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える
悲しみの向こう側に
(合唱)

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

2. 夜空の 向こうの
朝の気配に
わたしは なつかしい
あの日々を 思い出す

傷ついて 傷つけて
報われず 泣いたりして
今はただ 愛おしい
あの人を 思い出す

誰かの想いが見える
誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える
悲しみの向こう側に
(合唱)

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
いつか恋する 君のために

